

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 8日

事業所名 りんくるプレバ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	13	0	0		
	2	職員の配置数は適切である	13	0	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10	3	0	・1階はバリアフリー化である。	・施設自体が2階建てのため、足腰不自由な方は1階へ優先的に入所など配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	13	0	0	日々、振り返りを行いより良い支援ができるように心がけている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	13	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	2	0	・公開の有無を認識していない。	ホームページにて公開の周知方法を検討する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	7	1	・外部評価があるのかを認識していない。	・外部評価は自治体による(実地指導)のみになる。その他の外部評価が今後必要であれば検討します。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12	1	0	・社内研修を行っている。外部研修はZoomなどオンラインを使用し参加している。	・研修の開催内容アーカイブやシェア等を行い職員全体に周知する方法を検討する。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	13	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	3	0	・契約時や、個別支援会議等にて保護者様とお子様に関わり聞いている。	・全体に周知出来るように体制を整える。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	13	0	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13	0	0	・野外活動を取り入れ様々な経験ができるよう工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	13	0	0	・曜日によって活動プログラムを固定して支援を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	13	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13	0	0	毎朝、前日の振り返りや今日の支援についてミーティングを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13	0	0	支援終了後ではなく、翌日に前日の振り返りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13	0	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	13	0	0	・個別会議を行い、計画書の見直しをしている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	13	0	0			

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	13	0	0	児発管が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	13	0	0	・週の初めに電話にて下校時刻の確認や週間日程表の共有を行っている。また、行事の際の下校時刻の連絡等は保護者様と連絡を取り合っている。送迎トラブルの無いように情報共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9	4	0	・主治医から対象児童の活動についての留意点や、投薬の取り扱い方を全体に周知している。	主治医から対象児童の活動についての留意点や、投薬の取り扱い方などの職員全体に周知できるよう体制を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	11	2	0	対象児童がいない。	今後、対象児童が出た場合には、全体的に周知出来るように体制を整えていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	11	2	0	事例がない。	今後、対象児童が出た場合には、全体的に周知出来るように体制を整えていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	4	1	・研修があれば参加したい。	専門性機関との連携、研修の周知方法を検討する。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	5	1	野外活動や事業所近くの公園遊びでは、地域の児童との交流がある。	・今後は地域児童との交流機会を増やすように体制を整える。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	4	2	・開催があれば参加したい。	協議会のいつ開催されているのか等の情報が受け取りにくいいため、周知方法を検討する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13	0	0	連絡ノートやLINEを通して保護者様へ日頃の様子や出来事を伝えている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	10	3	0	・外部のペアレント研修実施の案内共有や、電話にての相談は常時行っている。	今後は、保護者会等にてペアレント・トレーニングの機会を増やしていく。	
保護者への説明責	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13	0	0	・契約時に保護者様にしっかり伝えるように丁寧に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13	0	0	LINE等を活用し、困った事があった際にはいつでもやり取りできる環境がある。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	11	2	0	・今年度の保護者会は1回の開催であったが、中高生の移行児童の保護向けに合同説明会等を開催している。	・保護者会の開催内容アーカイブやシェア等を行い職員全体に周知する方法を検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	13	0	0		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
任 等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	13	0	0	・会報等の発行はないがブログにて活動報告を行っている。	・活動の様子をブログやLINEを通じて発信し情報共有を行っている。
	35	個人情報に十分注意している	13	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	11	2	0	・年に1度発表会があり、保護者様のご家族その他知り合いや、関係機関(相談支援員・学校)を招待をしている。	・全体に周知出来るように体制を整える。
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	13	0	0	・入社時と契約時にマニュアル内容の説明を行っている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13	0	0	半年に1回、避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13	0	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	11	2	0	・身体拘束を必要とする利用児童はいない。	・身体拘束等の適正化のための指針と委員会の周知方法を検討する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	3	0	・契約時に確認を行っている。	・全体に周知出来るように体制を整える。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13	0	0	・契約時に保護者から確認を行い、個人情報に配慮し指導員全体に周知している。		